

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21107	韓国語 Korean Language	金 三淑	基礎	1	選択	1年前期

科目の概要

韓国語の文字(ハングル)及び基礎文法を学びながら、簡単な日常会話と自己紹介ができることを学修目的とします。また、韓国の生きた文化に触れながら理解を深めていきます。何よりも「読む、書く、聴く、話す」力をバランスよく伸ばしてコミュニケーション能力を高めることによって、言語にとどまらず、隣国の文化に対する理解を深めることを目標とします。

学修内容	到達目標
① ハングルの母音を覚える。 ② ハングルの子音を覚える。 ③ 母音と子音、終声子音の組み合わせを覚える。 ④ 文を作成し、簡単な会話を練習する ⑤ 韓国語で自己紹介をする。	① ハングルの母音を体系的に認識することができる。 ② ハングルの子音を体系的に認識することができる。 ③ ハングルで単語を表記することができる。 ④ 文を作成し、簡単な会話ができる。 ⑤ 韓国語で自己紹介ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ハングルの習得を通して、新たな自己表現手段を獲得します。
	働きかけ力	
	実行力	ハングルが理解できるように繰り返し声を出して発音練習をします。
考え抜く力	課題発見力	日本語と韓国語の違いに気づき、正確な発音を身につけ、文が書けるように努力します。
	計画力	
	創造力	日本語との語順の類似性を生かし、自ら韓国語の文章を考えることができます。
チームで働く力	発信力	自己紹介を簡単な文章にまとめ、他の学生の前で発表します。
	傾聴力	他の学生の自己紹介を聞き、コミュニケーションに生かします。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	講義中の私語、無断欠席、遅刻などをせず、教室内のルールを守ります。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:『するする 韓国語』 林河運／朴瑞庚 著、朝日出版社
参考文献:適宜、授業中に提示します。

他科目との関連、資格との関連

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 興味をもって学習をすすめることが大切だと考えます。積極的に取り組み、楽しく学んでいきましょう。 K-POP、ドラマなど韓国の文化と触れ合うことをお勧めします。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の練習はペア形式で行うことが多いです。ペア練習により教え合い協力し合って学習できるようにしましょう。 携帯電話は電源を切ってカバンにしまっておいてください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	30	①	✓	授業内容を理解できているか確認する。(3回、ただし、学生の学習状況に合わせて、回数を調節する。) 出題範囲は各時点までの授業で学習した内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート	20	①	✓	課題① 「自己紹介書」(写真付き)(5点):韓国と韓国語の科目に関連して書くこと。 課題② 韓国映画の感想文(5点):異文化を理解する観点から書くこと。 課題③ 練習帳(10枚、1枚1点):文字を繰り返し書きながら覚えること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓	(発信力)韓国語で自己紹介を発表する。 ・暗記して自己紹介ができることを評価する。(10点) ・明瞭な発音で発表することができることを評価する。(10点)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	30	①		(主体性)・語学力を身に付けるために自ら予・復習をすることができる。 (実行力) ・授業で学修した内容を日常的な場面で意識的に活用することができる。 (課題発見力) ・様々な会話の場面をイメージしてそれに必要な言葉を覚えることができる。 (創造力) ・学修した文法や単語を応用して自分の表現に変えることができる。 (発信力)・人の前で韓国語を使って自己アピールをすることができる。 (規律性)・無断欠席、学修意欲の欠如など授業に支障をきたす行動をせずルールを守ることができる。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルの文字表を見ないで読むことができる。 ・自己紹介の時に原稿を見ないで明瞭な発音で発表することができる。 ・小テストを 80(A)～90%(S)以上クリアすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルの仕組みを理解でき、文字表を見ながら発音ができる。 ・自己紹介の際に原稿を見ながら明瞭な発音で発表することができる。 ・小テストを 60(C)～70%(B)以上クリアすることができる。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション、ハングルの構造、挨拶表現(人に出会ったとき)	講義・演習	ハングルの仕組みが理解できる、基本の挨拶表現ができる。		90	主体性 実行性
2週 /	第1課 母音字母①、子音字母①、挨拶表現(初対面のとき)	講義・演習	母音字母①、子音字母①を使った簡単な単語を読むことができる。基本の挨拶表現ができる。	単語の読み書きができるように復習しておく。	90	主体性 実行性
3週 /	第2課 母音字母②、子音字母②、(久しぶりに会ったとき)	講義・演習	母音字母②、子音字母②を使った簡単な単語を読むことができる。基本の挨拶表現ができる。	単語の読み書きができるように復習しておく。	90	主体性 実行性
4週 /	第2課 平音・激音、有声化、挨拶表現(人と別れるとき) 小テスト①	講義・演習	平音と激音の違いが分かる。有声化の単語を読むことができる。基本の挨拶表現ができる。	単語の読み書きができるように復習しておく。	90	主体性 実行性
5週 /	第3課 合成母音、仮名のハングル表記、簡単な挨拶(お祝い)	講義・演習	仮名のハングル表記ができるようになる。基本の挨拶表現ができる。	単語の読み書きができるように復習しておく。	90	主体性 実行性
6週 /	第4課 濃音、終声(パッチム)、簡単な挨拶(お礼とその返答)	講義・演習	終声(パッチム)の仕組みが理解できる、基本の挨拶表現ができる。	単語の読み書きができるように復習しておく。	90	主体性 実行性
7週 /	小テスト② 文化体験—韓国映画鑑賞①	映画鑑賞	韓国文化に触れあい、理解を深めることができる。学習した表現を聞き取れるか確認ができる。	韓国の映画に関する資料を集めて、読んでおく。	90	主体性 実行性 傾聴力
8週 /	文化体験—韓国映画鑑賞②	映画鑑賞	韓国文化に触れあい、理解を深めることができる。学習した表現を聞き取れるか確認ができる。	日本と韓国の文化を資料などを参考にして比較してみる。	90	主体性 実行性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	第1課～第4課 文字と発音のまとめ、簡単な挨拶(その他)	講義・演習	文字と発音の仕組みが理解できる。基本の挨拶表現ができる。	文章の読みができるように復習しておく。	90	主体性 実行性
10週 /	第5課①(私はタナカ リナです。)文法解説:ハムニダ体、平叙形、疑問形、助詞	講義・演習	自己紹介の一環として、自分の名前を言えるようになる。	私は～です。の応用文が言えるようにしておく	90	主体性 実行性
11週 /	第5課②(私はタナカ リナです。)本文解説と朗読練習	講義・演習	自己紹介の一環として、自分の職業、家族のことを言えるようになる。	私は～です。の応用文が言えるようにしておく	90	主体性 実行性 創造力
12週 /	小テスト③ 自己紹介の練習	講義・演習	自己紹介の表現を言えるようになる。	自分なりの自己紹介の表現を考える。	90	主体性 実行性 創造力
13週 /	第6課①(誰の辞書ですか。)文法解説:へヨ体、平叙形、疑問形、助詞	講義・演習	自己紹介の一環として、自分の好きな食べ物について言えるようになる。	へヨ体の活用を覚えて言えるようにする。	90	
14週 /	第6課②(誰の辞書ですか。)本文解説と朗読練習	講義・演習	自己紹介の一環として、自分の好きな趣味、習慣について言えるようになる。	ハムニダ体とへヨ体を言えるようにする。	90	
15週 /	学習のまとめ及び自己紹介を発表する	発表	まとめ	発表の準備	90	主体性 実行性 情報把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力